

第15回
東かがわ市
コンサート



アンサンブル神戸

New Year **名曲** Concert

ニューイヤー名曲コンサート

Program

モーツァルト
「劇場支配人」序曲
メンデルスゾーン
ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン
交響曲第6番「田園」

2018年

1月28日 日

さぬき市志度音楽ホール

14:00開演 (13:30開場)



指揮
永峰 高志



ヴァイオリン
筒井 志帆

チケット(全席自由) 大人 2,000円 / 高校生以下 500円

販売店

- 東かがわ交流プラザ 0879-26-1224
- 大内公民館 0879-24-0945
- ベッセルおおち 0879-26-1126
- 引田公民館 0879-33-2533
- 文遊館 0879-23-0222
- マツシタ 0879-25-0128
- 志度音楽ホール 087-894-1000
- 香川県民ホール (サービスセンター) 087-823-5023
- 香川県庁生協 087-832-3822
- 高松ピアノ工房 087-833-9433
- ユープラザうたづ 0877-49-8020
- 丸亀市綾歌総合文化会館 0877-86-6800
- 観音寺市民会館 0875-23-3939



- 主催：東かがわ市コンサート協会 公益社団法人アンサンブル神戸
- 後援：東かがわ市 東かがわ市教育委員会 公益財団法人赤澤記念財団
- 連絡先：090-8699-3434(原)

アンサンブル神戸 New Year 名曲 Concert

ニューイヤー名曲コンサート

永峰高志 [指揮]

1980年東京藝術大学卒業。同年NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演等ソリストとして活躍している。ゲストコンサートマスターとしても、新日本フィル、シティフィル、仙台フィル、山形交響楽団、新星日本交響楽団(現東京フィル)などのオーケストラに出演している。

また1995年、名古屋白川ホールに於いて、田中カレン作曲「ウェーブ・メカニズム」[「キャニオン(世界初演)」]でN響メンバーによるオーケストラを初めて指揮をする。その後も同オーケストラで、プロコフィエフ作曲「ピーターと狼」、モーツァルト作曲 交響曲第40番、ベートーヴェン作曲 交響曲第5番「運命」等の指揮をし、聴衆、N響メンバー双方から絶賛を浴びる。

現在は仙台フィル、アンサンブル神戸、オンディーヌ室内オーケストラ、FAF管弦楽団等を指揮している。2017年1月仙台フィル&小曾根真氏との共演で演奏されたガーシュイン作曲「ラブソディー・イン・ブルー」は非常に高い評価を得た。近年はオーケストラの合奏指導にも力を注ぎ、その指導を受けたオーケストラのアンサンブルは劇的に改善されると定評がある。

国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たる。その指導はヴァイオリン奏法だけにとどまらず、オーケストラスタディ、オーケストラ奏法にまで及び、門下からはNHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルをはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。

2010年より岩手県久慈市文化会館(アンバーホール)の芸術監督も務め、数々の公演をプロデュースし成功を収めている。



筒井志帆 [ヴァイオリン]



香川県高松市牟礼町出身。4歳よりヴァイオリン、ピアノを始める。

香川県立高松高校を経て東京藝術大学器楽科を卒業。2007年群馬交響楽団入団。ヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、岡山潔、漆原朝子の各氏に師事。

第20回アフィニス夏の音楽祭、第30回草津夏期国際音楽アカデミーに参加。第36回全国アマチュアオーケストラフェスティバル高松大会、UDON楽カウントダウン高松コンサート等においてコンサートミストレス、ソリストを務める。

2014年ドイツ・ハンブルクに留学。Stefan Wagner氏(北ドイツ放送交響楽団コンサートマスター)及びAdrian Iliescu氏(ハンブルク交響楽団コンサートマスター)に師事。ハンブルク領事館主催「Dankes Konzert~Ihre Freude ist meine Freude」でコンサートミストレスを務める。

2015年群馬交響楽団に復帰。オーケストラの他室内楽やソロ活動も行っている。これまでに香川県文化芸術新人賞受賞。高松市観光大使を務める。

アンサンブル神戸 [オーケストラ]

阪神淡路大震災時に仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに、関西の若手音楽家により発足した室内オーケストラ。1996年9月にオープンした神戸新聞松方ホールを本拠地として年間約3回の自主公演を行い、約10回の依頼公演に込んでいる。創立時から元ベルリンフィル第一コンサートマスター、レオン・シュピラー氏を首席コンサートマスターに招き、アンサンブルの緻密さや演奏能力の向上に努めてきた。2013年5月より一般社団法人アンサンブル神戸として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラとして地域文化の振興、発展に貢献するため活動を続けている。2013年8月、第2回「KOBE ART AWARD(コウベアートアワード)」優秀賞受賞。

